

【科目名】基礎実習		【担当教員】永松一真、作業療法学専任教員 (メールアドレス) nagamatsu@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 月曜～金曜、8:30～18:00
【授業区分】 専門分野（臨床実習）	【授業コード】 4-25-0980-0-1	
【開講時期】2年後期	【選択必修】必修	
【単位数】2単位	【コマ数】46コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 実習前に開講されている科目の単位を、原則としてすべて履修しておくこと。 実習の手引きを熟読しておくこと。 事前に実習施設に関わる情報を収集し、必要な資料等を準備しておくこと。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 実習施設へ行く前に、身だしなみを整えること。 不適切な身だしなみと判断された学生については実習を認めないことがある。 臨床見学実習終了後は、グループ毎に発表を行うため、お互いに協力し合い発表準備を行うこと。 実習中に事故・事件その他の問題が起きた場合は、直ぐに実習先のスタッフ及び本学へ連絡すること。		
【講義概要】 (目的) 基礎実習は、患者と直に接し、コミュニケーション方法、医療事故対策、感染対策、個人情報保護の実践について学修する。また臨床評価実習に向けて、作業療法評価法の具体的な実践、レポートの作成についても学修することを目的とする。 (方法) 2週間の日程とする。2週間のうち1週間は医療施設または老人保健施設に赴き、前後2～3日間は学内で専任教員のもとセミナーを実施する。		
【一般教育目標(GIO)】 ・ これから目指すセラピスト像のイメージを創造する。 ・ リハビリテーションに関わるスタッフの連携を理解する。 【行動目標(SBO)】 ・ 作業療法士という仕事の魅力・やりがい等を聞く、もしくは触れる。 ・ 病院でのリハビリテーションスタッフの関わり方に触れる。 ・ 福祉施設で高齢者への関わり方や介護士や看護師の仕事内容に触れる。 ・ 小児施設で子どもへの関わり方に触れる。 ・ 可能であれば、精神障害施設・地域の介護保険・就労支援施設の見学にも参加する。		
【教科書・リザーブドブック】 実習の手引き		
【参考書】 編集・市川和子、作業療法臨床実習とケーススタディ（第2版）、医学書院、2011年、¥4,200（税別）		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。 臨床評価実習のGPA、実習中の課題の内容から総合的に評価を行う。		

平成 26～28 年度入学者用

評価基準の詳細な内容は「実習の手引き」に記載する。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技(実習)	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		0	0	10	10	80	0	0	100点
評価指標	取り込む力・知識			5		20			25
	思考・推論・創造の力			5		20			25
	コラボレーションとリーダーシップ				5				5
	発表力				5				5
	学修に取り組む姿勢					40			40
【授業日程と内容】									
回数	講義内容			授業の運営方法	学修課題(予習・復習)			時間(分)	
学外実習									
1・2	オリエンテーション(学内) 基礎実習での注意事項、課題確認			講義	配布資料を読んでおく。				
3～7	基礎実習前実技試験(学内) 職業人として適切な対応を身に付ける。 作業療法評価の一部を行えるようになる。			演習	配布資料を読んでおく。 評価学の内容を復習しておく。				
8～12	グループ学習(学内) 実技試験における自身の立ち振る舞いを振り返り、グループ内で注意点や改善点を見つける。			演習	グループ学習の成果をまとめる。				
学外1日目	基礎実習 (医療施設、老人保健施設、小児施設等)			実習	行動記録、実習記録の作成				
学外2日目	基礎実習 (医療施設、老人保健施設、小児施設等)			実習	行動記録、実習記録の作成				
学外3日目	基礎実習 (医療施設、老人保健施設、小児施設等)			実習	行動記録、実習記録の作成				
学外4日目	基礎実習 (医療施設、老人保健施設、小児施設等)			実習	行動記録、実習記録の作成				
学外5日目	基礎実習 (医療施設、老人保健施設、小児施設等)			実習	行動記録、実習記録の作成				
13・14	グループ学習(学内)			演習	学外実習の成果をグルー				

平成 26～28 年度入学者用

	基礎実習での反省と学んだ内容		プ毎に学ぶ。	
15～17	グループ学習(学内) 実習内容の発表準備	演習	発表資料の作成	
18～23	まとめ(学内) グループディスカッションの実施 テーマ:臨床評価実習に繋げるためには何 が必要か?	演習	成果発表 レポート作成・提出	

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。